

早生樹の有効活用に向けて・・・

大分県日田市でシンポジウム開催

平成28年1月28日（木）、「おおいた早生樹研究会（会長：田島信太郎）」の主催による「おおいた早生樹研究会シンポジウム」が当研究部会議室で開催されました。

シンポジウムでは、九州大学大学院農学研究院の松村順司教授を講師に迎え、「早生樹を取り巻く情勢と今後の展望」と題して、早生樹林業の提案と推進を目的とした内容の講演を頂きました。

講演では「常識にとらわれない新しい林業としての早生樹林業」について提案がなされ、参加者からも今後の早生樹の有効活用の可能性について高い期待が寄せられました。

引き続き行われた話題提供においては、田島信太郎会長より「研究会の取り組み事例の紹介と今後の展望について」、グリーン発電大分(株)代表取締役森山和浩氏より「木質バイオマス発電の早生樹活用についての展望について」、当研究部から森林チームの松本純研究員が「早生樹の燃焼試験と破碎試験の結果について」それぞれ報告がありました。

今回のシンポジウムは、県内外の産学官など関係者92名の参加があり、日田市内はもとより先進事例がある国有林や熊本県などの参加者からも意見や質問が寄せられ、活発な意見交換となりました。これを契機として、早生樹の造林や活用策など研究・検討がさらに広がることが期待されます。



田島信太郎会長



会場風景